



認定こども園
太陽幼稚園・おひさま保育園

令和7年1月改訂版

もくじ

1, 子どもの病気について	・・・1~3
・症状を見るポイント	
・登園前の体調チェックをしましょう	
・こんな時はお休みしましょう	
・園内で感染症が集団発生した場合について	
・医療機関に受診した時	
・病児・病後児保育について	
2, 感染症による「登園停止期間の基準」と「登園許可証明書」 「療養解除届」について	・・・4~5-2
3, 与薬について	・・・6~8
4, 食物アレルギー児の対応について	・・・9~10
5, 保育中のけがについて	・・・11
6, 健診について	・・・11
7, 予防接種について	・・・12
★園でよくみられる病気	・・・13~23
★アタマジラミについて	・・・24
★感染性胃腸炎について	・・・25~26
★基本的な感染予防対策を大切に	・・・27
★子どもと生活リズム	・・・28~29

入園おめでとう



園は大勢の子どもたちの集団生活の場です。集団での午睡や食事、遊び等では子ども同士が濃厚に接触することが多いため、飛沫感染や接触感染が生じやすい場でもあります。

これまでより風邪やその他の感染症にかかりやすくなりますが、もしかかってしまっても早めの対応や登園の目安を心得ておくことが、子どもの健康を守り、集団感染を防ぐことに繋がります。この「けんこうのてびき」はこども家庭庁の「保育所における感染症ガイドライン 2018年改訂版」に基づいて作成しました。このてびきを参考に、毎日元気に園に通えるようにしましょう。

1、子どもの病気について

○症状を見るポイント

【顔色・表情】

- ・表情
- ・顔色がいつもと違う
- ・表情がぼんやりしている

【耳】

- ・痛がる
- ・耳だれがある

【胸】

- ・呼吸が苦しそう
- ・ゼーゼーする

【皮膚】

- ・湿疹がある
- ・かさかさしている
- ・水疱、化膿、出血している

【尿】

- ・回数、量、色の濃さ、においがいつもと違う
- ・血尿がでる

【目】

- ・目やにがある
- ・目が赤い・瞼が腫れぼったい・まぶしがる

【鼻】

- ・鼻水がでる
- ・鼻づまりがある
- ・小鼻がピクピクしている

【口】

- ・唇の色が悪い
- ・口の中が痛い
- ・舌がイチゴの様に赤い

【のど】

- ・痛がる
- ・赤くなっている
- ・声がかれている
- ・咳が出る

【食欲】

- ・普段より食欲がない

【睡眠】

- ・泣いて目がさめる
- ・目覚めが悪く機嫌が悪い

【便】

- ・回数、量、色の濃さ、においがいつもと違う
- ・下痢・便秘
- ・血便が出る
- ・白色便が出る

【お腹】

- ・張っていて触ると痛がる



○登園前の体調チェックをしましょう

- ★園が連絡帳や健康チェックカード(園の様式)で健康のチェックをお願いすることがありますので、健康状態を記入して登園してください。
- ★いつもと違う様子や気になることがあったら必ず教えてください。
- ★集団生活での健康管理のため、症状により園を休んでいただくことがあります。特に、感染する恐れがある病気については医師の許可を得て「登園許可証明書」または「療養解除届」を園に提出したうえで登園してください。(P4~5-2)
- ★「発熱」「咳」「嘔吐」「下痢」「発疹」「目の充血・目やに」などは感染する病気も考えられるので、登園前に受診し、集団生活が可能かどうか医師の診断を受けてください。

◎こんな時はお休みしましょう

- 24 時間以内に 37.5 度以上の熱が出たとき
- 24 時間以内に解熱剤を使用しているとき
- 朝から 37.5 度を越えた熱があることに加えて、元気がなく機嫌が悪い、朝食・水分が摂れていないなど

発熱

全身状態が不良であるとき

- ★発熱時の体温はめやすであり、個々の平熱に応じて個別に判断します。元気な時の平熱を知っておきましょう。
- ★解熱しても 24 時間はおうちでゆっくりすごしましょう

- 24 時間以内に下痢があったとき
- 腹痛を伴うとき

下痢

- 食事や水分をとるとその刺激で下痢をするとき
- 機嫌が悪い、元気がない、食欲がない、顔色が悪いとき
- 下痢と同時に、体温がいつもより高いとき
- 朝に、排尿がないとき
- ★下痢や吐き気、腹痛、発熱、だるさ等の症状が治まり、食欲が戻って普段の食事がとれるようになってから登園しましょう

下痢が長く続くと、体内の水分、電解質、栄養分が失われます。普段の便に戻るまでは、消化の良い食事を摂ることが重要です。園では給食の個別対応ができないため、できるだけ自宅で消化の良い食事を与え、安静に過ごすことが早い体調回復につながります。

- 24 時間以内に嘔吐があったとき
- 嘔吐と同時に、体温がいつもより高いとき
- 食欲がなく、水分を欲しがらないとき

嘔吐

- 機嫌が悪い、元気がないとき
- 顔色が悪く、ぐったりしているなどの症状がみられるとき
- ★嘔吐や吐き気、腹痛、発熱、だるさ等の症状が治まり、食欲が戻って普段の食事がとれるようになってから登園しましょう

咳、

- 夜間、しばしば咳、鼻水のために起きるとき
- ゼイゼイ音、ヒューヒュー音や呼吸困難があるとき

鼻水

- 呼吸が早い、少し動いただけで咳が出るなどの症状がみられるとき

- 感染症による発疹が疑われ、医師より登園をひかえるよう指示されたとき
- 口内炎がひどく、食事や水分が摂れない

発疹

- 発疹が顔面等があり、患部を覆えないとき
- 浸出液が多く、他児への感染の恐れがあるとき
- かゆみが強く、手で患部を掻いてしまうとき

○園内で感染症が集団発生した場合について

園内で一定数以上の同症状による同時感染が確認された場合、感染症拡大防止のため登園自粛措置を講じる場合があります。その際は園からお知らせしますので、ご理解ご協力をお願いします。

○医療機関を受診した時

★伝えていただきたいこと

- ・園に通っているので昼食時の与薬はできないこと。

★確認していただきたいこと

- ・他児への感染の恐れがないか。
- ・散歩、外遊びが可能かどうか。

○病児・病後児保育について

園に通園しているお子さまが、病気等により集団保育が困難であり、保護者の勤務などで家庭での保育ができない時に、一時的に保育を行います。

(ア) 実施施設

長岡市 病児・病後児保育実施施設一覧

施設名	所在地	電話番号	病児保育	病後児保育
生協こどもクリニック 病児保育室すこやか	沢田 1-1-20	(0258) 33-7090	○	○
長岡福祉協会 病児・病後児保育施設 すとく	深沢町 2278-8	(0258) 86-7933	○	○
東部どんぐり保育園 病後児保育室にこにこ	四郎丸 2-3-25	(0258) 34-8088	—	○
芳香稚草園 病後児保育室「豊愛」森のこかげ	栄町 3-4-7	(0258) 53-2303 52-1768	—	○
恵和こども園 KEIWA ナーサリールーム	蓮潟町 312	(0258) 28-2768	—	○
こどもけやき苑 クリームおばさんの病後児保育室	槇山町 1593-1	(0258) 29-2510	—	○
東部川崎保育園 病後児保育室	川崎 3-2388	(0258) 89-6658	—	○
くろじょうこども園 病後児保育室 うらら	黒津町 377	(0258) 24-8703	—	○

(イ) 利用料金 1日 2000円 (昼食は別途ご用意ください。)

(ウ) 利用方法

事前登録が必要です。医療機関で受診した際、**担当医から医師連絡票を記入いただき、実施施設に予約**をしてください。(利用定員があります。)医師連絡票については別途文書料がかかる場合があります。お問い合わせは実施施設、または保育課 (TEL39-2219) へお願いします。


※詳しくは長岡市ホームページ→メニュー→子育て・教育→子育て→保育園等の制度、入園手続きなど→病児・病後児保育事業に掲載されています。

○感染症による「登園停止期間の基準」と「登園許可証明書」

「療養解除届」について

お子さまが感染症にかかった場合、本人の健康回復と周囲の子どもたちへうつす恐れがありますので、登園を遠慮して頂いております。医師の診断及び治療を受けられ、病気が軽快し他の園児にうつす恐れがなくなりましたら、医師より「登園許可証明書」に記入してもらい園へ提出してください。

なお、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症については医師に記入を求めない「療養解除届」を保護者が記入して園に提出してください。

区分	病名	登園停止期間の基準
第2種	インフルエンザ	発症した後5日経過し、かつ解熱した後3日経過するまで
	新型コロナウイルス感染症	発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで
	百日咳	特有の咳が消失するまで、又は適正な抗菌性物質製剤による5日間の治療が終了するまで
	麻疹（はしか）	発疹に伴う発熱が解熱後3日を経過するまで
	風疹（三日ばしか）	発疹が消失するまで
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日経過し、かつ全身状態が良好になるまで
	水痘（みずぼうそう）	すべての発疹が痂皮（かさぶた）化になるまで
	咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状が消失した後2日経過するまで
	結核	医師により感染の恐れがないと認めるまで
	髄膜炎菌性髄膜炎	医師により感染の恐れがないと認めるまで
第3種	流行性角結膜炎（はやり目）	医師により感染の恐れがないと認めるまで
	急性出血性結膜炎	医師により感染の恐れがないと認めるまで
	腸管出血性大腸菌（0-157,0-26 など）	医師により感染の恐れがないと認めるまで
第3種 その他	溶連菌感染症 手足口病 感染性胃腸炎(ロタウイルス、アデノウイルス、ノロウイルスの疑いなど) ヘルパンギーナ RSウイルス マイコプラズマ肺炎 伝染性膿痂疹（とびひ） 伝染性紅斑（りんご病）など	医師の判断による 

☆第3種その他の感染症について

- ・一定の出席停止基準は設けられていませんが発生や流行の動向によっては医師による登園許可の判断が必要となります。
- ・登園停止の必要のない疾患であっても診断は必要です。受診後、各園に伝えてください。
- ・就学前の乳幼児においては、まれに合併症をひきおこし重症化する場合があります。これらの病気にかかった時に「登園許可証明書」をお渡ししますが、園に「提出が必要か、否か」については医師の指示に従ってください。

※登園許可証明書、療養解除届は、

長岡市ホームページ→メニュー→子育て→保育園等の制度、入園手続きなど→登園許可証明書でダウンロードできます。

主治医様

現在かかっている病気が軽快し、他の園児への感染の恐れがなくなりましたら、お手数でも保護者に「登園してよい」旨を指導し、下記の「登園許可証明書」に記入をお願いします。

登園許可証明書

保護者記入欄

園名		クラス		氏名	
----	--	-----	--	----	--

下記の感染症に罹患しましたが、本日の診察では集団保育に支障がないと認められますので、下記の期日より登園してよいことを証明します。

病名 (主治医記入欄・・・該当に○印をお願いします。)

第2種	インフルエンザ	百日咳	麻疹
	風疹(三日ばしか)	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	
	水痘(水ぼうそう)	咽頭結膜熱(プール熱)	結核
	髄膜炎菌性髄膜炎		
第3種	流行性角結膜炎(はやり目)	急性出血性結膜炎	
	腸管出血性大腸菌(0-157, 0-26 など)		

☆第3種その他の感染症について

溶連菌感染症 感染性胃腸炎(ロタウイルス、アデノウイルス、ノロウイルスの疑いなど)
RSウイルス 伝染性紅斑(りんご病) ヘルパンギーナ
手足口病 マイコプラズマ肺炎 伝染性膿痂疹(とびひ)

これらの病気にかかり症状が重い時、その時の発生や流行の大きさによって登園停止が望ましい場合などは保護者へ説明のうえ記入をお願いします。なお、伝染性紅斑など診断がついて登園可能な疾患も○印をお願いします。

登園してもよいと認められる月日 令和 年 月 日から

登園後の注意事項

令和 年 月 日

医療機関名

医師名

()

インフルエンザによる出席停止についてのお知らせ

インフルエンザは、他の子どもに感染させるおそれのある期間は出席停止となり登園できません。かかりつけ医と相談のうえ、適切な措置をとられますようお願いいたします。なお、登園再開にあたっては、この用紙に保護者が記入して提出することとしますので、下記の確認表を参考に必要事項を記入のうえ、登園の際、園に提出をしてください。

令和 年 月 日

療養解除届（インフルエンザ用）

組	氏名
	保護者名
1 発症日	_____ 月 _____ 日
2 解熱した日	_____ 月 _____ 日
3 登園開始日	_____ 月 _____ 日
4 受診医療機関名	_____

保護者の方へ

インフルエンザは出席停止期間の基準が定められています。この間は他の人に感染させる恐れがあるため、登園することはできません。下記の表に発症日等を記入し、療養期間を確認してください。

出席停止期間（乳幼児） 【発症後5日を経過し、かつ、解熱後3日を経過するまで】

※（参考）小学生以上は「発症後5日を経過し、かつ、解熱後2日を経過するまで」

<確認表>

1 発症後、5日経過した後登園可能となる場合

発症日 0 日目	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目	登園開始日
(例) 12/1	12/2	12/3 解熱	12/4	12/5	12/6	12/7 登園可

2 療養期間が延長となり、解熱後3日を経過したあと登園可能となる場合

発症日 0 日目	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目	6 日目	7 日目	8 日目	登園開始日
(例) 12/1	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6 解熱 0 日目	12/7 1 日目	12/8 2 日目	12/9 3 日目	12/10 登園可

- ・保護者の方が記入し、医療機関に記入を求めないでください。
- ・療養後登園するにあたり、診断時に医師から再受診の指示があった場合は、それに従ってください。

新型コロナウイルス感染症による出席停止についてのお知らせ

新型コロナウイルス感染症は、他の子どもに感染させるおそれのある期間は出席停止となり登園できません。かかりつけ医と相談のうえ、適切な措置をとられますようお願いいたします。なお、登園再開にあたっては、この用紙に保護者が記入して提出することとしますので、下記の確認表を参考に必要事項を記入のうえ、登園の際、園に提出をしてください。

令和 年 月 日

療養解除届（新型コロナウイルス感染症用）

組	氏名
	保護者名
1 発症日	_____月 _____日
2 症状が軽快した日	_____月 _____日
3 登園開始日	_____月 _____日
4 受診医療機関名	_____

※「症状軽快」とは、解熱剤を使用せず解熱し、かつ、呼吸症状が改善傾向にあることをいいます。

保護者の方へ

新型コロナウイルス感染症は出席停止期間の基準が定められています。この間は他の人に感染させる恐れがあるため、登園することはできません。下記の表に発症日等を記入し、療養期間を確認してください。

出席停止期間（乳幼児） 【発症後5日を経過し、かつ、症状軽快後1日を経過するまで】

<確認表>

1 発症後、5日経過した後登園可能となる場合

発症日 0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	登園開始日
(例) 6/1	6/2	6/3	6/4	6/5 軽快	6/6	6/7 登園可

2 療養期間が延長となり、軽快後1日を経過したあと登園可能となる場合

発症日 0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	登園開始日
(例) 6/1	6/2	6/3	6/4	6/5	6/6	6/7	6/8 軽快	6/9	6/10 登園可

- ・保護者の方が記入し、医療機関に記入を求めないでください。
- ・療養後登園するにあたり、診断時に医師から再受診の指示があった場合は、それに従ってください。

○与薬について

与薬は基本的に医師の指示のもと「責任者」である保護者が行うものであり、安全のため、園では職員が園児に対して与薬は行わないこととしています。

登園前または帰宅後に服用することが可能な薬につきましては、家庭で服用していただき、園での与薬はやむを得ない場合に限るということで、ご理解とご協力をお願いします。しかし、病気によっては園でも与薬が必要という医師の与薬指示がある場合に限り、職員が保護者に代わって薬を飲ませることができます。どうしても服用が保育時間に必要な場合は、以下の事項を守っていただきますようお願いいたします。

・くすりの取り扱いについて

★「与薬依頼書」に必要事項を記入し、薬、薬剤情報提供書(写し)とともに園の職員に手渡ししてください。



- ・「与薬依頼書」は医療機関ごとに1枚とし、与薬をするたびに提出してください。(P7)
- ・慢性疾患（心臓疾患、アトピー性皮膚炎、喘息、アレルギーなど）で1ヶ月以上継続して与薬が必要となる場合には、慢性疾患用の与薬依頼書（P8）を使用し与薬日を記入してください。なお、初回に医師の診断書が必要となる場合がありますので各園にご相談ください。
- ・症状がある時だけに使う頓服薬（解熱剤や、痛み止めなど）は、園児の状態の観察・判断が必要となるためお預かりできません。
- ・市販薬、自家製の薬、以前に処方された薬、兄弟の薬はお預かりできません。
- ・外用薬(軟膏)はアトピー性皮膚炎や湿疹などに限ります。

★必ず、薬は内服薬・水薬ともに1回分に分けてお持ちください。

- ・外用薬、点眼薬はそのままお預かりします。
- ・粉薬は、袋のままご持参ください。
- ・水薬は1回分をタレ瓶などに入れてください（薬局で処方されるときに1回分を分けてもらいたい旨を相談すると分けてくれるところもあります）。

★薬袋、容器にはクラス名、名前、服用時間を記入してください。(P7)

- ・内服薬が複数の場合は、それぞれに①②③④と記入してください。
- ・乳児の場合、食前、食後ではなく時間を記入するようにしてください。

- * お子さまの具合が悪くなった場合は、すぐに連絡します。対応をお願いいたします。
- * 薬の飲ませ方、保管方法など備考欄にてお知らせください。
- * 与薬依頼書や薬剤に不備がある場合には与薬できません。
- * 食物アレルギーのために頓服薬・エピペンが処方された場合は園にご相談ください。
- * 貼付剤（ホクナリンテープなど気管支拡張剤）を貼っている場合は連絡帳もしくは口頭で園にお知らせ下さい。
- * 薬の使用期限をご確認ください。

《1 回分の薬包の記入の仕方》

○同じ医療機関で 2 種類以上薬がある場合

○月○日 ばななぐみ ○ ○ ○ ○ 昼食後 ①	○月○日 ばななぐみ ○ ○ ○ ○ 昼食後 ②
-----------------------------------	-----------------------------------

- 与薬日
- クラス名
- 名前
- 服用時間
- 薬が複数ある場合、それぞれ①②と記載する

○慢性疾患用の場合

○月○日 ばななぐみ ○ ○ ○ ○ 昼食前	<ul style="list-style-type: none"> - 与薬日 - クラス名 - 名前 - 服用時間
---------------------------------	---

○複数の医療機関からの薬がある場合

○月○日 ○○病院 ばななぐみ ○ ○ ○ ○ 昼食後 ①	○月○日 ○○クリニック ばななぐみ ○ ○ ○ ○ 昼食後 ①
---	--

- 与薬日
- それぞれの医療機関名
- クラス名
- 名前
- 服用時間

《与薬依頼書の記入例》

与 薬 依 頼 書

依頼年月日 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

ばなな 組	児童名 太陽 太郎	保護者名 太陽 一郎
処方を受けた医療機関名	○○○こども病院	医療機関の電話番号 ○○ - ○○○○
病 名	かぜ 主な症状 (鼻水、咳)	
内 服 薬	① 粉水錠剤 (食前 食後) その他 <small>午後ミルクの後</small> ② 粉水錠剤 (食前 食後 その他)) ③ 粉水錠剤 (食前 食後 その他)) ④ 粉水錠剤 (食前 食後 その他)) ※乳児の場合は、おおよその時間をその他に記入してください。	
外用薬 (軟膏薬)	患部 時間	
点 眼 薬	① 回数 回 時間 患部 (右目・左目)	② 回数 回 時間 患部 (右目・左目)
連絡先	受理者	与薬者
備 考	飲み方などをお書きください。 (例) 水に溶かさず飲みます。少量の水に溶かしスプーンで飲みます。	

与薬依頼書（慢性疾患用）

依頼年月日 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

ばなな組	児童名 太陽 太郎	保護者名 太陽 一郎
------	-----------	------------

処方を受けた医療機関名	〇〇〇こども病院 (医師名：△△△△)	医療機関の電話番号	〇〇-〇〇〇〇
病名	□□□□□- 主な症状 (□□□□□)		
内服薬	① 粉水錠剤 (食前 食後 その他) ② 粉水錠剤 (食前 食後 その他) ③ 粉水錠剤 (食前 食後 その他) ④ 粉水錠剤 (食前 食後 その他) ※乳児の場合は、おおよその時間をその他に記入してください。		
外用薬 (軟膏薬)	患部	時間	
点眼薬	① 回数 患部	回 時間 (右目・左目)	② 回数 患部 回 時間 (右目・左目)
今回の薬を与える期間	4月7日 ~ 4月30日	備考	※飲ませ方などをお書きください

(慢性疾患用 ウラ面)

児童名 太陽太郎

与薬依頼日	受理者	与薬者	連絡先	与薬依頼日	受理者	与薬者	連絡先
4月7日	〇〇	△△	母勤務先	月 日			
4月8日	△△	〇〇	母携帯	月 日			
4月9日	□□	〇〇	母勤務先	月 日			
月 日				月 日			
月 日				月 日			
月 日				月 日			
月 日				月 日			
月 日				月 日			
月 日				月 日			
月 日				月 日			
月 日				月 日			
月 日				月 日			

○食物アレルギー児の対応について

★食物アレルギーをお持ちのお子さまがいる場合は、必ず園に申し出をお願いします。

★園での給食を安全に提供するために、事前にお子さまの状況について、下記の症状の有無とその後の対応について確認をお願いいたします。

なお、緊急な対応が必要な場合や、悩み・不安等がありましたら、遠慮なく園にご相談ください。

◎症状

過去にある食品を食べて、じんましん・顔のはれ・目のかゆみ・息苦しさ・口の中やのどがヒリヒリ、イガイガした等の症状（重症、軽症に関わらず）があった。

はい

症状について、医療機関を受診した

はい

食物アレルギーと診断された。

はい

いいえ

確認は以上になります。

いいえ

上記の症状は食物アレルギーの可能性が
あります。医療機関を受診する
ようお願いします。

いいえ

保育園・幼稚園に現在の状況と
受診結果をお知らせ
ください。

給食での対応の有無にかかわらず、医師により記載された『保育園等における生活管理指導表』が必要となります。受診の際は、『保育園等における生活管理指導表』を持参していただき、園に提出してください。給食対応が必要な場合には、詳細について園と個別に面談等を行い対応いたします。
※『保育園等における生活管理指導表』は文書料が発生する場合があります。

※内服薬・エピペン保管依頼書が必要となった場合には園から様式をお渡しします。

緊急時に備えた処方薬 **内服薬・エピペン[®]保管依頼書**

保管開始日	組	園児名	生年月日
年 月 日			男 女
保護者名			① ()
かかりつけ 医療機関名	(担当医:)	緊急時連絡先	② ()
	(Tel:)	受診日(直近)	③ ()
薬品名・量	①	園での 保管場所	年 月 日
	②		
	③		

※医師の処方した薬のみ保管します。(薬の説明書またはそのコピーを添付してください。)

※薬の容器や袋にお子さんの名前(フルネーム)を書いてください。

※緊急時(誤食時)、保護者に連絡しますので、必ず連絡がとれるようにお願いします。

受け渡しチェック表

月日	受取者	与薬者	返却者		月日	受取者	与薬者	返却者
/					/			
/					/			
/					/			
/					/			
/					/			
/					/			
/					/			
/					/			
/					/			
/					/			
/					/			
/					/			
/					/			
/					/			
/					/			
/					/			
/					/			
/					/			

○保育中のけがについて

園で応急処置を行います。帰宅後に必ず傷の確認と手当をお願いします。医療機関に受診する必要があるけがの場合は、すぐに保護者の方に連絡しますので保険証を持っておいでください。

★けが等の発生に備えて園のお子さま全員が「日本スポーツ振興センター」の災害共済給付制度に加入しています。

○健診について

園では、内科健診、歯科健診、を実施します。健診や検査の結果で、医療機関を受診する必要がある場合は、各園から連絡します。その際は、早めに受診してください。

また、受診の結果を園にもお知らせください。



○予防接種について

乳幼児は、感染症に対する抵抗力（免疫力）が弱いため、長時間一緒に生活する園ではさまざまな感染症の発生が起こりやすくなります。

●重い感染症から子どもの健康を守ります

予防接種で免疫を付け、お子さんも、周りのお友達にも感染する病気を予防しましょう。適切な時期に早めに受けるようにしましょう。

接種はお子さんと一緒にいられるお休みの日や降園後に受けて下さい。接種後は接種部位が腫れたり、発熱があったりと体調が変化する可能性があるため、接種後はゆっくりおうちで過ごすようにしましょう。

【在園中における月齢・年齢別、定期ワクチンの接種時期】

生後2か月	小児肺炎球菌、B型肝炎、五種混合または四種混合とヒブ(各4回)、ロタ(2回または3回)
生後5か月	BCG
1歳	麻しん風疹混合1回目、水痘1回目、2回目
3歳	日本脳炎1回目、2回目
4歳	日本脳炎3回目
5歳	麻しん風疹混合2回目

※接種対象期間は無料ですが、過ぎると有料となります。

正確な接種対象期間は「長岡市予防接種手帳」をご確認ください。

園でよくみられる病気

インフルエンザ	潜伏期間	日数	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	治るまでの期間(目安)
	1～4日	症状	<div style="background-color: #cccccc; padding: 2px; text-align: center;"> <感染する可能性のある期間> 発症1日前から7日目頃まで </div>										5日
	予防接種	ポイント											
	インフルエンザワクチン(不活化)【任意】	<ul style="list-style-type: none"> ・飛沫感染及び接触感染 ・熱が下がってもまだ感染力は残っている 											
	療養解除届	登園のめやす											
	<input type="checkbox"/> 必要・ <input type="checkbox"/> 不要	発症した後5日経過し、かつ解熱した後3日経過していること											

新型コロナウイルス感染症	潜伏期間	日数	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	治るまでの期間(目安)
	3日	症状	<div style="background-color: #cccccc; padding: 2px; text-align: center;"> <感染する可能性のある期間> 発症2日前から発症後7～10日目頃 </div>										5日
	予防接種	ポイント											
	新型コロナワクチン(生後6か月以上で接種可)	<ul style="list-style-type: none"> ・飛沫感染、閉鎖空間でのエアロゾル感染、接触感染 ・無症状のまま経過することもある ・2歳未満、基礎疾患のある場合は重症化リスクあり 											
	療養解除届	登園のめやす											
	<input type="checkbox"/> 必要・ <input type="checkbox"/> 不要	発症した後5日経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過すること 無症状の感染者の場合は検体採取日を0日目として、5日を経過すること											

麻しん	潜伏期間	日数	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	治るまでの期間(目安)
	8~12日	症状	<p><感染する可能性のある期間> 発熱出現1日前から解熱後3日まで</p>										10日
	予防接種	ポイント	<p>・空気感染、飛沫感染、接触感染で感染力が極めて強い</p>										（はしか）
	麻疹風疹混合ワクチン(生)【定期】	おうちでできる予防やケア	<p>・1歳になったらなるべく早く麻疹風疹混合(MR)ワクチンを受ける ・年長児(小学校入学前)になったら2回目の麻疹風疹混合(MR)ワクチンを受ける ※園では一人でも発症した場合、速やかに他の子どもに対して、かかったことがあるか、予防接種を受けているかどうか聴取します</p>										
	登園許可証明書	登園のめやす	<p>解熱後3日を経過していること。</p>										
	必要・不要	必要・不要	<p>病状により感染力が強いと認められた時はさらに長期に及ぶことがある</p>										

流行性耳下腺炎(おたふく)	潜伏期間	日数	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	治るまでの期間(目安)
	16~18日	症状	<p><感染する可能性のある期間> 発症6日前から9日後まで</p>										7日
	予防接種	ポイント	<p>・飛沫感染、接触感染 ・発症前から唾液中にウイルスが排出されている ・約30%は明らかな症状のない不顕性感染</p>										
	ムンプスワクチン(生)【任意】	おうちでできる予防やケア	<p>・1歳になったら任意の予防接種を受けることができる ・唾液を分泌するときに痛みが増すのですっぱいものは避ける ・口を開けたり噛んだりする時痛むので消化の良い柔らかいものを与える</p>										
	登園許可証明書	登園のめやす	<p>耳下腺・顎下腺・舌下腺の膨張が出現してから5日経過し、かつ全身状態が良好になっていること</p>										
	必要・不要	必要・不要	<p>耳下腺・顎下腺・舌下腺の膨張が出現してから5日経過し、かつ全身状態が良好になっていること</p>										

風しん	潜伏期間	日数	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	治るまでの期間(目安)
	16~18日	症状	<p><感染する可能性のある期間> 発疹出現 7 日前から発疹出現 7 日目頃まで</p> <p>発熱・リンパ腺の腫れ</p> <p>発熱と同時に 顔・首・耳の後ろから全身に赤い発疹がひろがる</p>										10日
	予防接種	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・飛沫感染、接触感染、母子感染(胎内感染) ・妊娠前半期の妊婦が感染すると先天異常の子どもが生まれる可能性がある 										
	麻疹風疹混合(MR)ワクチン(生)【定期】	おうちでできる予防やケア	<ul style="list-style-type: none"> ・1 歳になったらなるべく早く麻疹風疹混合(MR)ワクチンを受ける ・小学校入学前に 2 回目の麻疹風疹混合(MR)ワクチンを受ける ・脱水症をおこさないように水分補給をさせる ・発疹は痒みを伴うことがあるので掻き壊さないように爪を短く切る 										
	登園許可証明書	登園のめやす											
	<input type="checkbox"/> 必要・ <input type="checkbox"/> 不要	発疹が消失していること											

水痘	潜伏期間	日数	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	治るまでの期間(目安)
	14~16日	症状	<p><感染する可能性のある期間> 発疹出現 1-2 日前からすべての発疹がかさぶたになるまで</p> <p>発疹(紅斑→水疱→膿疱→かさぶた) 頭やお腹から全身に広がる</p> <p>発熱</p>										5日
	予防接種	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・空気感染、飛沫感染、接触感染、母子感染(胎内感染) ・飛沫(しぶき)や膿疱・水疱中にウイルスが存在する ・発疹がかさぶたになるまではうつるので外出は控える 										
	水痘ワクチン(生)【定期】	おうちでできる予防やケア	<ul style="list-style-type: none"> ・1 歳になったら早めに予防接種を受ける ・掻き壊さないように爪を短く切る ・温まると痒みが増すので、入浴はシャワーで流す程度にする ・集団の場合は、一人の発症があった場合、速やかに他の子どもに対して、かかったことがあるか、予防接種はしているか聴取する 										
	登園許可証明書	登園のめやす											
	<input type="checkbox"/> 必要・ <input type="checkbox"/> 不要	全ての発疹がかさぶたになっていること											

咽頭結膜熱（プール熱）	潜伏期間	日数	1日 目	2日 目	3日 目	4日 目	5日 目	6日 目	7日 目	8日 目	9日 目	10日 目	治るまでの 期間(目安)	
	2～14日	症状	<p style="text-align: center;"><感染する可能性のある期間> 発症後から症状軽快後も数か月続くことがある。</p> <p style="text-align: center;">発熱・のどの痛み・目の充血</p>										5日	
	かかりやすい 年齢	ポイント												
		<ul style="list-style-type: none"> ・接触感染、飛沫感染、プールでの感染 ・特に夏季に流行がみられる ・唾液・便・涙などから感染する ・治癒後も長期間、便中にウイルスが排出されている ・多くの場合自然経過で治癒する 												
	幼児～学童	おうちでできる予防やケア												
		<ul style="list-style-type: none"> ・おむつ交換の後はしっかり手洗いをする ・水分補給をして口当たりの良い食べ物を与える ・目やにや涙はティッシュペーパーを使って拭きとる ・丁寧に手洗いをを行う。タオルの共用はしない 												
登園許可証明書	登園のめやす													
<input type="checkbox"/> 必要・ <input type="checkbox"/> 不要	発熱、充血等の主な症状が消失した後2日を経過していること													

百日咳	潜伏期間	日数	1日 目	2日 目	3日 目	4日 目	5日 目	6日 目	7日 目	8日 目	9日 目	10日 目	治るまでの 期間(目安)	
	7～10日	症状	<p style="text-align: center;"><感染する可能性のある期間> 咳が出現してから4週間目頃まで。</p> <p style="text-align: center;">特有な咳 (コンコンとせき込んだ後、ヒューと笛を吹く ような音を立てて息を吸う)</p>										5日	
	予防接種	ポイント												
		<ul style="list-style-type: none"> ・飛沫感染、接触感染 ・乳児では無呼吸発作、肺炎、中耳炎、脳症等合併症が起こりやすい ・適切な抗菌薬による治療によって排菌は抑えられるが咳は長引く 												
	五種混合 または 四種混合	おうちでできる予防やケア												
		<ul style="list-style-type: none"> ・五種混合または四種混合ワクチンを4回接種する ・安静に過ごす ・咳が出て吐いてしまう、水分が摂れない時は受診する 												
登園許可証明書	登園のめやす													
<input type="checkbox"/> 必要・ <input type="checkbox"/> 不要	特有の咳が消失していること又は 適正な抗菌性物質製剤による5日間の治療が終了していること													

流行性角結膜炎	潜伏期間	日数	1日 目	2日 目	3日 目	4日 目	5日 目	6日 目	7日 目	8日 目	9日 目	10日 目	治るまでの 期間(目安)
	2~14日	症状	染する可能性のある期間> 発症後から症状軽快後も数か月続くことがある 										14日
	かかりやすい 年齢	ポイント											
		<ul style="list-style-type: none"> ・飛沫感染、プール水、手指、タオルを介しての接触感染 ・感染力が強く、目やにや涙に触れた指やタオルから感染することが多い ・治ってもウイルスは便中に1か月程度排出される 											
	全年齢	おうちでできる予防やケア											
		<ul style="list-style-type: none"> ・目やにや涙はティッシュペーパーを使って拭きとりすぐ捨てる ・丁寧に手洗いをを行う ・タオルや目に触れるものの共用はしない ・消毒は塩素系漂白剤を使用する(アルコール消毒は効きにくい) 											
登園許可証明書	登園のめやす												
<input type="checkbox"/> 必要・ <input type="checkbox"/> 不要	結膜炎症状が消失していること												

急性出血性結膜炎	潜伏期間	日数	1日 目	2日 目	3日 目	4日 目	5日 目	6日 目	7日 目	8日 目	9日 目	10日 目	治るまでの 期間(目安)
	1~3日	症状	<感染する可能性のある期間> 発症後から症状軽快しても1か月程度続くことがある 										7日
	かかりやすい 年齢	ポイント											
		<ul style="list-style-type: none"> ・接触感染 ・感染力が強く、目やにや涙に触れた指やタオルから感染することが多い ・治ってもウイルスは便中に1か月程度排出される 											
	5歳以下	おうちでできる予防やケア											
		<ul style="list-style-type: none"> ・目やにや涙はティッシュペーパーを使って拭きとりすぐに捨てる ・丁寧に手洗いをを行う ・タオルや目に触れるものの共用はしない 											
登園許可証明書	登園のめやす												
<input type="checkbox"/> 必要・ <input type="checkbox"/> 不要	医師により感染の恐れがないと認められること												

溶連菌感染症	潜伏期間	日数	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	治るまでの期間(目安)
	2～5日	症状	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <感染する可能性のある期間> 抗菌薬投与にて、24時間以内に感染力は消失する </div>										21日
	かかりやすい年齢	ポイント											
		<ul style="list-style-type: none"> ・飛沫感染、接触感染 ・有効な抗菌薬を使えば1～2日で発熱やのどの痛み、発疹が消えていく 											
	5～10歳以下	おうちでできる予防やケア											
		<ul style="list-style-type: none"> ・喉ごしの良い食べ物を与える ・感染後数週間して合併症(リウマチ熱や腎炎)を起こすことがあるので、症状が治っても決められた期間抗菌薬を飲み続ける 											
登園許可証明書	登園のめやす												
<input type="checkbox"/> 必要・ <input type="checkbox"/> 不要	抗菌薬の内服後24～48時間が経過していること												

手足口病	潜伏期間	日数	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	治るまでの期間(目安)
	3～6日	症状	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <感染する可能性のある期間> 発症から1か月程度続くことがある </div>										5日
	かかりやすい年齢	ポイント											
		<ul style="list-style-type: none"> ・経口感染、飛沫感染、接触感染 ・解熱し、発疹が消えても通常1～2週間唾液や鼻水からウイルスの排出がある ・便からは数週～数か月程度排出する 											
	6歳以下	おうちでできる予防やケア											
		<ul style="list-style-type: none"> ・口の中に水疱があると痛がって食事を嫌がるので無理はせずに、薄口で口当たりの良い食べ物を与え、しっかり水分補給をする ・回復後も数か月は便からウイルスを排出するためおむつ交換の後はしっかり手洗いをする 											
登園許可証明書	登園のめやす												
<input type="checkbox"/> 必要・ <input type="checkbox"/> 不要	発熱や口の中の水疱・潰瘍の影響がなく、普段通りの食事がとれること (手や足の発疹が出ていても登園に問題なし)												

ヘルパンギーナ	潜伏期間	日数	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	治るまでの期間(目安)
	3～6日	症状	<p><感染する可能性のある期間> 発症から1か月程度続くことがある</p> <p>中に水疱性の発しん（発赤→水泡→潰瘍）発熱（39℃以上）、咽頭痛</p>										5日
	かかりやすい年齢	ポイント											
		<ul style="list-style-type: none"> ・経口感染、飛沫感染、接触感染 ・春から夏にかけて流行する ・回復後も通常1～2週間唾液や鼻水からウイルスの排出がある ・便からは数週～数か月程度排出する 											
	4歳以下	ポイント	おうちでできる予防やケア										
		<ul style="list-style-type: none"> ・口の中に水疱があると痛がって食事を嫌がるので無理はせずに、 ・薄口で口当たりの良い食べ物を与える ・しっかり水分補給をする ・回復後もおむつ交換の後はしっかり手洗いを 											
登園許可証明書	登園のめやす												
<input type="checkbox"/> 必要・ <input type="checkbox"/> 不要	食事が普通に摂れ、全身状態が安定												

伝染性紅斑（りんご病）	潜伏期間	日数	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	治るまでの期間(目安)
	4～14日	症状	<p><感染する可能性のある期間> 風邪症状出現から発疹が出現するまで</p> <p>風邪症状 両頬に紅い発しん、手・足や体に網目状の発しん</p>										長期の場合 有
	かかりやすい年齢	ポイント											
		<ul style="list-style-type: none"> ・飛沫感染、母子感染(胎内感染) ・大人の抗体保有率は20～50%であり、大人も感染することがある ・妊娠中に感染すると胎児に異常をきたすことがある ・発疹が出現したころには感染力は消失している 											
	9歳以下	ポイント	おうちでできる予防やケア										
		<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、消毒等を徹底する ・症状がある場合は、咳エチケットを心がける ・妊娠中の方は、できるだけ患者との接触を避ける ・症状がある場合は、早めに医療機関を受診する 											
登園許可証明書	登園のめやす												
<input type="checkbox"/> 必要・ <input type="checkbox"/> 不要	発疹のみで全身状態が良ければ登園可能												

感染性胃腸炎（ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルスなど）	潜伏期間	日数	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	治るまでの期間(目安)
	ノロウイルス 12～48 時間 ロタウイルス 1～3 日	症状	<div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <感染する可能性のある期間> 発症から 1 か月程度続くことがある </div>										2～7 日
	予防接種	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・冬から春にかけて流行する ・経口感染、接触感染、飛沫感染 ・おもな症状は嘔吐と下痢である ・ロタウイルスに感染した時は下痢便が白くなることもある 										
	ロタウイルス ワクチン(生) 【定期】	おうちでできる予防やケア	<ul style="list-style-type: none"> ・脱水を起こさないように吐き気の様子を見ながら少しずつ水分補給をする ・ゼーゼーと苦しそうな時、脱水症状がみられた場合はすぐ受診する ・便の様子を見ながら消化の良いものを少しずつ与える ・便や嘔吐物は、マスクや手袋を着けて処理する ・アルコール消毒では効果がないため次亜塩素酸ナトリウムを使用して消毒する ・症状が消失した後もウイルスは便に 2～3 週間程度排出されるのでおむつなどの扱いに注意し、石鹸による手洗いを徹底する ・下痢が続くとおしりがただれやすいので、清潔を保つようにする 										
	登園許可証明書	登園のめやす	嘔吐・下痢の症状が治まり普段の食事がとれること										
		必要・不要	嘔吐・下痢の症状が治まり普段の食事がとれること										

マイコプラズマ肺炎	潜伏期間	日数	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	治るまでの期間(目安)
	14～21日	症状	<div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <感染する可能性のある期間> 症状のある間がピークだが、数か月保菌することもある </div>										5日
	かかりやすい年齢	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・咳、発熱、頭痛等の風邪症状がゆっくり進行する ・特に咳は徐々に激しくなり肺炎を引き起こす ・中耳炎、発疹等を伴うこともあり重症化することもある ・適正な抗菌薬の内服にて改善する 										
	学童期に多いが乳児にもみられる	おうちでできる予防やケア	<ul style="list-style-type: none"> ・水分補給、消化の良い食べ物を与える ・適度な温度と湿度を保つ(夏: 26～28度 冬: 17～22度 湿度 50%) 										
	登園許可証明書	登園のめやす	発熱や激しい咳が治まって全身状態が良いこと										
		必要・不要	発熱や激しい咳が治まって全身状態が良いこと										

RSウイルス	潜伏期間	日数	1日 目	2日 目	3日 目	4日 目	5日 目	6日 目	7日 目	8日 目	9日 目	10日 目	治るまでの 期間(目安)
	4～6日	症状	<div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; text-align: center;"> <感染する可能性のある期間> 発症から 3～8 日目まで </div>										7日
	かかりやすい 年齢	ポイント											
		<ul style="list-style-type: none"> ・接触感染、飛沫感染 ・0～1歳児の初感染では重症化しやすいので気をつける ・生後6か月未満の乳児では入院が必要となることもある ・何度も罹患する可能性があるが、再感染・再々感染した場合には徐々に症状が軽くなる 											
	0～2歳児	おうちでできる予防やケア											
		<ul style="list-style-type: none"> ・脱水を起こさないように水分補給をする ・ゼーゼーと苦しそうな場合、脱水症状がみられた場合はすぐ受診する 											
登園許可証明書	登園のめやす												
<input type="checkbox"/> 必要・ <input checked="" type="checkbox"/> 不要	咳などが安定した後、全身状態が良いこと												

ヒトメタニューモウイルス感染症	潜伏期間	日数	1日 目	2日 目	3日 目	4日 目	5日 目	6日 目	7日 目	8日 目	9日 目	10日 目	治るまでの 期間(目安)
	3～5日	症状	<div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; text-align: center;"> <感染する可能性のある期間> 発症から 1～2週間 </div>										7日
	かかりやすい 年齢	ポイント											
		<ul style="list-style-type: none"> ・接触感染、飛沫感染 ・すべての年齢でかかるが、5歳までに少なくとも1回は感染する ・乳児では肺炎になることがあり、免疫が低下していると重症化することがある 											
	すべての年齢	おうちでできる予防やケア											
		<ul style="list-style-type: none"> ・脱水を起こさないように水分補給をする ・ゼーゼーと苦しそうな時、脱水症状がみられた場合はすぐ受診する 											
登園許可証明書	登園のめやす												
<input type="checkbox"/> 必要・ <input checked="" type="checkbox"/> 不要	咳などが安定した後、全身状態が良いこと												

突発性発疹	潜伏期間	日数	1日目	2日目	3日目	4日目			5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	治るまでの期間(目安)
	9～10日	症状	発熱				全身に鮮紅色の発しん								1週間
	かかりやすい年齢		ポイント												
			<ul style="list-style-type: none"> ・無症状の家族、保育者、濃厚接触者などの唾液中に排泄されるウイルスによる ・熱のわりに元気で機嫌がよく哺乳も食事もできる ・原因となるウイルスは2種類あるので、2回かかることもある 												
	6か月～2歳		おうちでできる予防やケア												
			<ul style="list-style-type: none"> ・機嫌が悪くないからと言って外出したりせずに安静に過ごす ・下痢を伴うことがあるので、食事や水分補給に気をつける 												
登園許可証明書		登園のめやす													
必要 <input type="checkbox"/> 不要 <input checked="" type="checkbox"/>		解熱し機嫌がよく全身状態が良いこと													

伝染性軟属腫(水いぼ)	潜伏期間	日数	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	治るまでの期間(目安)
	2～7週	症状	<ul style="list-style-type: none"> ・真ん中にへこみがあり、固くてつやのある1～2mm程度のぶつぶつができる ・わきの下、胸部、腕の内側、股の付け根など皮膚と皮膚がすれ違うところにいぼができる。 ・軽度のかゆみあり 										数か月から半年
	かかりやすい年齢		ポイント										プール
			<ul style="list-style-type: none"> ・水いぼをつぶすと中からウイルスを含んだ物質が排出される ・治療は摘除や自然消失を待つ等医師の判断による 										可 (水を介して感染はしないが、タオル・浮き輪・ビート板などの共用は避ける)
	乳幼児		おうちでできる予防やケア										
			<ul style="list-style-type: none"> ・水いぼを衣類や、包帯、耐水性ばんそうこう等で覆う ・掻き壊してしまわないように爪を短く切る ・皮膚の清潔を保ち、保湿剤等でバリア機能を改善する 										
登園許可証明書		登園のめやす											
必要 <input type="checkbox"/> 不要 <input checked="" type="checkbox"/>													

伝染性膿痂皮(とびひ)	潜伏期間	日数	1日 目	2日 目	3日 目	4日 目	5日 目	6日 目	7日 目	8日 目	9日 目	10日 目	治るまでの 期間(目安)	
	2~10日	症状	<ul style="list-style-type: none"> ・紅斑を伴う水疱やびらん、かさぶたが鼻周囲、体幹、四肢等の全身にみられる ・患部をひっかくことで数日から10日後に隣接する皮膚や離れた皮膚に新たに病変が生じる 										長期の場合有	
	かかりやすい 年齢	ポイント												プール
		<ul style="list-style-type: none"> ・虫刺されや湿疹を掻き壊し、細菌感染する ・水疱が破れて出てくる菌を含む液が飛び散ったり、掻いた手で他の部分を触ったりすることでも拡がる 												不可 (症状を悪化させたり、ほかの人にうつす恐れあり、治癒するまで禁止)
	乳幼児	おうちでできる予防やケア												
	<ul style="list-style-type: none"> ・掻き壊すので爪を短く切る ・患部はガーゼで覆う 													
登園許可証明書	登園のめやす													
<input type="checkbox"/> 必要・ <input type="checkbox"/> 不要	医師の判断による													

アタマジラミ	潜伏期間	日数	1日 目	2日 目	3日 目	4日 目	5日 目	6日 目	7日 目	8日 目	9日 目	10日 目	治るまでの 期間(目安)	
	10~30日 卵は約7日で 孵化する	症状	<ul style="list-style-type: none"> ・頭のかゆみや不快感が駆除するまで続く ・アタマジラミは約4週間生きている 										長期の場合有	
	かかりやすい 年齢	ポイント												プール
		<ul style="list-style-type: none"> ・襟足・つむじ・耳の後ろで発見されることが多い ・卵は白色か薄茶で、0.5 mmくらいの楕円形 												治療を始めて いれば可 (タオル、帽子、ブラシやそれらの置き場所等の共用はしないこと)
	全年齢	おうちでできる予防やケア												
	<ul style="list-style-type: none"> ・疑われる症状が見られたら皮膚科を受診する ・駆除剤を使用する ・着衣、シーツ、枕カバー、帽子等は温水(55℃以上)で10分間ほど処理をして洗濯する ・頭の接触を避ける ・ブラシ、タオル、枕、帽子などは共用しない 													
登園許可証明書	登園のめやす													
<input type="checkbox"/> 必要・ <input type="checkbox"/> 不要														

参考文献 1) 「2018年改訂版 保育所における感染症ガイドライン」厚生労働省
 2) 「学校、幼稚園、認定こども園、保育所において予防すべき感染症の解説」
 日本小児科学会 予防接種・感染症対策委員会 2023年5月改訂版

アタマジラミについて

アタマジラミは、人の頭に寄生する虫で頭皮から血を吸って、卵を産みつけ寄生数を増やしていきます。血を吸われるとかゆいので気づくのですが、かゆみの程度には個人差があり気づかないこともあります。頭と頭の接触や、頭に触れるものを介してうつり、誰でも、どこでも感染します。

園、学校でも集団発生しやすく、広がると駆除するのが困難になるため、早期発見・早期対応でアタマジラミの蔓延を防いでおります。

洗髪時などお子さまの頭を観察していただき、ご家庭でもアタマジラミの発生を確認したら園にお知らせくださるようお願いいたします。



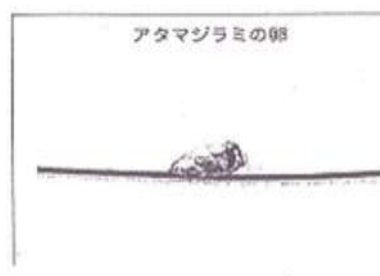
《アタマジラミチェック法》

- 成虫は非常に動きが早く、見つけるのが難しいので、卵を探します。
 - ・ 耳の後ろや後頭部やえりあしの髪の毛の根元に卵を発見することが多いです。
 - ・ 卵はフケと間違いやすいですが、髪の毛に付着しているので簡単には取れません。
- 頭をかいている様子があったら、調べてみましょう。

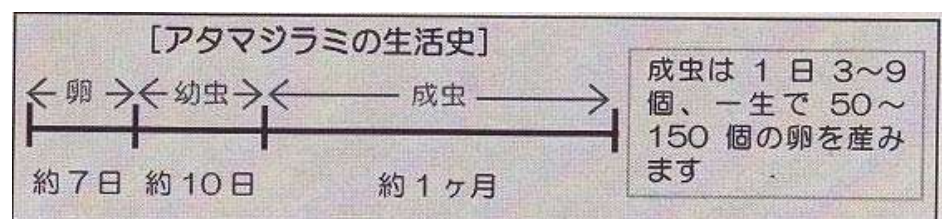
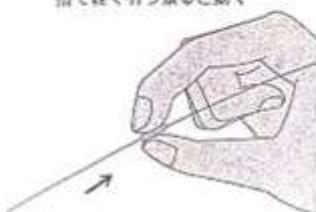


《成虫や卵をみつけたら》

- 成虫・卵が見つかったら、園にお知らせください。
 - ・ アタマジラミか判断できないときは、皮膚科を受診して確認してください。
- 駆除剤（スミスリンシャンプー、スミスリンパウダー）を説明書に従い使用します。
- 卵は駆除剤では死なないので、卵のついている部分の髪の毛をハサミで切り、ビニール袋に入れて捨てましょう。



アタマジラミの卵と間違えやすい
ヘアークャスト（皮脂などの分泌物）は
指で軽く引っ張ると動く



感染性胃腸炎について

感染性胃腸炎をおこす病原体にはロタウイルス、ノロウイルス、アデノウイルスなど数多くあり、秋から春にかけての主に冬季を中心に流行します。ロタウイルスは主に乳幼児に、ノロウイルスは乳幼児だけでなく学童・成人にもみられます。体の抵抗力の弱い乳幼児が感染すると重症になることがあります。

感染性胃腸炎は感染力が強いため、集団生活の場では 1 人の発症者から感染が拡大し、集団発生することがあり、園でも手洗い励行、園内の消毒など感染拡大防止策を徹底し注意しております。

つきましては、ご家庭でも下記の点に留意され予防に努めてくださいますようお願いいたします。

【症 状】

ウイルスのついた手や食物、水を介して口から入り腸管で増殖し胃腸炎症状を引き起こします。症状はおう吐、下痢、腹痛、吐き気、発熱などがあり、脱水症状に注意が必要です。ウイルスは便中に数週間排出されることもあるためオムツ交換などは気をつけましょう。

【予 防】

- 石けんでていねいな手洗い
- 下痢やおう吐物の処理を適切にしましょう
おう吐物、下痢便には多量のウイルスが存在しています。家庭内での感染も多くみられます。処理には十分注意しましょう。
⇒ご家庭でのおう吐物の消毒方法などについては、次ページをご覧ください。
- 食品は十分加熱しましょう
ウイルスを死滅させるためには、「85～90℃で 90 秒以上の加熱」が必要です。



【胃腸炎症状がみられたら…】

- おうちで夜間・休日などに胃腸炎症状があった時は、園にお知らせください。
~~同居家族の方で胃腸炎症状がある場合も~~お願いいたします。
- 症状がみられる時は、早めに医師の診察を受け、家庭でゆっくり休ませましょう。
~~受診時、園に通っていることを伝えて医師の指示に従って~~
ください。（受診結果を園にお知らせください。）
感染性胃腸炎の場合は登園許可証明書の提出をお願いします。



* 登園の目安 * おう吐・下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること。

流行期には、お子さんに胃腸炎症状（おう吐・下痢・吐き気・腹痛・食欲不振等）がないか十分に注意し、気になることがありましたら、園にお知らせください。

※感染力の強い感染性胃腸炎の園内での感染予防対策として、おう吐や下痢で汚れた衣類等は園内では洗わずそのまま密封してお返します。ご理解のほどよろしく申し上げます。

【嘔吐物処理のしかた】

汚物がわずかに残っているだけでも感染源になります。
適切に処理をしましょう。



《必要物品》

- 塩素系漂白剤
(次亜塩素酸ナトリウム 5~6%)
ノロウイルスの感染力を失わせるには塩素系漂白剤による消毒が有効です。
- 使い捨て手袋、マスク
- 使い捨ての布 (ペーパータオルなど)
- ビニール袋
- ペットボトル (消毒液作成時使用)



処理のポイント

まず、汚染物を使い捨ての布などで **覆って換気**

- ① 処理をする前に**使い捨て手袋、マスク**をする。
- ② 汚物を使い捨ての布などで、できる限り拭き取る。
- ③ ②で使用した布と手袋は、ビニール袋に入れ口をしっかりと縛る。
※充分浸る程度の消毒液を入れることが望ましい
- ④ 手袋を交換し、汚染された場所を**消毒液**に浸した布などで広範囲に10分間覆う。その後、水拭きをする。
- ⑤ ④で使用した布や手袋をビニール袋に入れ、そこに③のビニール袋も入れて口をしっかりと縛り処分する。
※処分するまではできるだけ屋外に置く

処理後はしっかり **手洗い・うがい!**

《消毒液の作り方 0.1%》 ~便や嘔吐物が付着した床、衣類、トイレの便器の消毒~

500ml のペットボトルを使用する場合

塩素系漂白剤を 50~60 倍に希釈します

塩素系漂白剤をペットボトルのキャップ 2 杯 [10ml] 入れ、
水を加えて全量 500ml にする。



《リネン類の消毒》

~処理する際は、手袋マスク換気を忘れずに~

■衣類を汚したとき

できる限り汚物を取り除き、消毒液に 10 分つけ置きする。(色落ちすることあり)
または 85℃以上の熱湯に 1 分以上放置しその後、他の洗濯物と分けて洗濯。洗濯後は十分乾燥させる。



■布団やじゅうたんを汚したとき

できる限り汚物を拭き取り、汚染した所にスチームアイロンを 1 分間以上あてる。
その後、日光にあてて十分乾燥させる。布団乾燥機を使用する場合は、窓を開けて換気を十分に



参考：ノロウイルス現場対策

基本的な感染予防対策を大切に

1. こまめに手洗い

外出先からの帰宅時や調理の前後、トイレの後、食事前などにこまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう。園でよくみられる感染症にはアルコール消毒が効かないものもあります。(感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナ、プール熱等。)

石鹸で手を洗う習慣をつけられるように、年齢に応じた声掛けをお願いします。

2. 咳エチケット

咳などの症状がある方で、咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他の方に病気をうつす可能性があります。咳・くしゃみをする前に、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖を使って、口や鼻を押さえる咳エチケットを行いましょう。



3. こまめな換気

対角線にある2か所の窓を開けると効果的です。

24時間換気システムが設置されている場合は常に使用し、必要に応じて窓開け換気を行ってください。

※お子さんのマスク着用について

子どものマスク着用は窒息や熱中症のリスクが高まるため園では求めません。

様々な事情によりマスクを着用している場合であっても、お昼寝の際や、熱中症リスクが高いと考えられる場合、屋外での活動、プールや水遊びを行う場合にはマスクを外します。

参考：こども家庭庁 保育所における新型コロナウイルス感染症への対応に係る Q&A について(第二十一報)

手洗い

手洗いはとても大切な習慣ですが、生理的な欲求と結びつかないため、身につけにくいといわれています。きちんと洗えるようになるまで見守ってください。

<p>0歳児 手をふいてもらう</p> <p>離乳食が始まったら、「きれいにしようね」と声をかけながら、食事やミルクの前は必ず手をふきます。</p>	<p>1歳児 手を洗ってもらう</p> <p>「ごはんだから手を洗おう」と声をかけて手洗いに誘います。大人がせっけんをつけていねいに洗い、ふいてあげましょう。</p>	
<p>2歳児 自分で洗えるようになる</p> <p>自分で水を出し、せっけんをつけて大まかに洗い、流し、ふくことができますが、きちんと洗うためには、見守りと声かけが必要です。</p>		<p>3歳児 しっかり洗える</p> <p>「手を洗おう」と声をかければ、自分で正しい洗い方ができますが、洗った後のチェックは必要です。</p>

子どもと生活リズム

発育期の乳幼児の健康は、睡眠・食事・遊ぶのリズムが重要です。昼夜の区別に合った生活をする事、毎日きちんと決まったリズムで生活することが子どもの成長・発達を促します。また、生活リズムが整うことで、あいさつや食事のマナー、着替え、歯みがきといった基本的な生活習慣が身につけやすくなります。

睡眠

食事や遊びなど昼の活動を充実させるために、夜は寝て脳と体を休める必要があります。また夜更かしは、体内のリズムを乱し成長ホルモンやメラトニンなど成長・発達に必要なホルモンがしっかり分泌されないことにつながります。

体内時計は朝の光を手がかりにリズムを調整します。朝の光を浴びた時間から 14 時間くらい経つとメラトニンが分泌され、自然な眠りを誘い、休息に適した体温にしてくれます。

成長・発達の途中にある子どもにとって十分で良質な睡眠がとれるよう環境を整えましょう。

眠りに導くポイント

- 1 「早起き」し、朝の光をいっぱい浴びよう。
決まった時間に起こし朝日で体を目覚めさせましょう。
- 2 昼間は思いっきり体を動かして遊ぼう。
疲れて夜は眠くなります。
- 3 だらだら昼寝はやめましょう。
遅くても 15 時まで起こすようにしましょう。
- 4 食事は決まった時間に食べるようにしましょう。
遅い夕食は就寝時間に影響するので注意しましょう。
- 5 寝る前の熱いお風呂は避けましょう。
体温が上がると眠りにくくなります。
- 6 夜はきちんと寝かしつけましょう。
テレビやスマホ、ゲームの光は見せず、電気を消して静かな環境を整えましょう。

食事

食事は、生活リズムを整える大きな柱です。食事の時間や回数が一定になると生活リズム全体が作りやすくなります。

食事をおいしく食べるためには、「おなかがすいた」と感じる事が 1 番です。だらだら、おやつを食べることがないように注意しましょう。

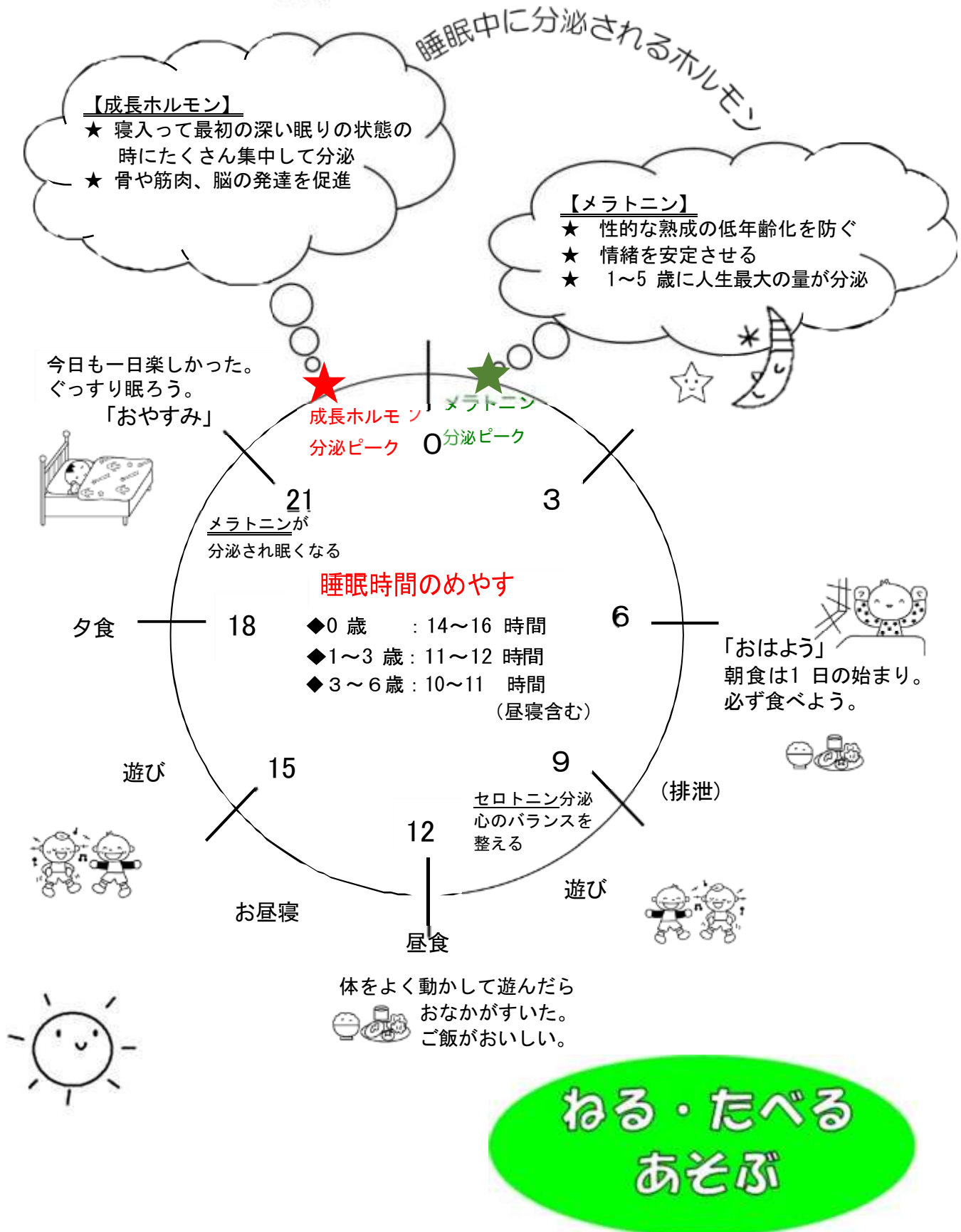
朝食は大切

午前中の動く・考える・集中することのエネルギー源は朝食です。また、朝食をとることで胃腸を働かせ排便をうながします。

遊ぶ

日中からだをたくさん動かして遊ぶことで、『寝つきがよくなる⇒早寝⇒早起き⇒しっかり朝食が食べられる⇒1 日元気に遊べる』というリズムができます。日中光を浴び、よく体を動かすとセロトニンというホルモンが分泌されます。セロトニンは心のバランスを整えます。そして、メラトニンの材料となり、夜の深い眠りにつながります。

近年の社会環境が夜型化している中で子どもの生活リズムの確立は非常に難しくなっています。
生活リズムを整えることは、子どもの体・心・脳の健やかな成長に欠かせないことを、保護者やまわりの大人たちが理解し環境を整えてあげましょう。



けんこうのてびき 平成 27 年 2 月改訂
平成 28 年 2 月改訂
平成 31 年 2 月改訂
令和 2 年 1 月改訂
令和 3 年 1 月改訂
令和 4 年 1 月改訂
令和 5 年 1 月改訂
令和 5 年 5 月改訂
令和 5 年 7 月改訂
令和 6 年 1 月改訂
令和 7 年 1 月改訂